

「向う通るは清十郎じゃないか」

① 八百屋お七や樽屋おせんなど、恋に命を燃やした女性たちの逸話を集めた井原西鶴の浮世草子『**A**』。そのトップを飾る第1巻が「姿姫路清十郎物語」、つまりお夏清十郎のお話です。

室津の造り酒屋の息子だった清十郎は遊郭通いの末に勘当され、姫路の但馬屋へ奉公に出て主人の妹・お夏と出会う。たちまち恋に落ちた2人は、尾上の花見に出かけた際に契りを交わし、駆け落ちしようと飾磨の港から船出^②。しかしあえなく捕らえられ、清十郎は横領のぬれぎぬを着せられ打ち首に。お夏は狂いさまよって尼となった。

西鶴がこの小説を書いたのは1686（貞享3）年。もとになった「事件」から二十数年後でした。まだ実際の出来事を知る人が大勢いたでしょうし、大坂にいた西鶴の耳には姫路城下のうわさ話も届いてきたはず。そんな伝聞に室津の遊郭や飾磨津、尾上の桜といった名所巡りの趣



（姫路文学館
ブンコちゃん）

B お夏清十郎 江戸時代初期の姫路城下で起きた悲恋物語。明君・榊原忠次が治めた泰平の世の出来事だっただけに、庶民の関心を集めた。姫路市野里の慶雲寺には2人を弔う比翼塚があり、毎年8月9日に「お夏清十郎まつり」が開かれる。

姫路城の中之門筋と西国街道が交差する「札の辻」跡。ここから2軒目に但馬屋があったとされる＝姫路市本町



向も加え、大衆好みの読み物に仕立てたのでしよう。

では、どこまでが事実なのか。おそらく確かなのは、江戸時代の初期—1662（寛文2）年説が有力なのですが、姫路の^{お夏}大店のお嬢さんに恋沙汰が持ち上がり、相手の男が命を落とした、ということぐらい。それが「お夏」という人だったのか、主人の娘か妹か、但馬屋が何の商売をしていたのかなど、定かではありません。

事件に触れた文献としては、幕末（1856年前後）の「おなつ清十郎事聞書」（『村翁夜話集』）があります。約200年も後に書かれているので、西鶴や他の創作物の影響を受けている可能性は

③ 否めませんが、姫路の人にはなじみ深い地名も

「お夏清十郎」

案内するのは 甲斐史子学芸員

数多く登場し、やはり但馬屋という店に大変なことが起きたんだろうとのぼれます。

また、事件が物語として広まったのには、やはり歌の存在も見逃せません。「清十郎殺さばお夏も殺せ④生きて思いをさしよよりも」「向う通るは清十郎じゃないか 笠がよく似た菅笠が」…。西鶴作品にも取り入れられたこれらの歌の原形は、姫路以外の土地でも歌われていました。諸国に伝わる恋歌がお夏清十郎の一件と結びつき、実話を超えた物語が形作られていったのではないのでしょうか。

1707（宝永4）年には**B**の人形浄瑠璃「五十年忌歌念仏」が初演。その後も歌舞伎や新劇、映画で「お夏清十郎物」が盛んに作られます。中でも坪内逍遙の舞踊劇「お夏狂乱」は、坂東玉三郎さんの名演で有名ですね。ちなみに姫路文学館の映像展示では、まだ新人だった俳優の今田美桜さんがお夏を演じているんですよ。

残されたお夏の「その後」にも諸説があります。「村翁夜話集」では小豆島に嫁いだとされ、西鶴や近松の作品では出家。室津には入水伝説が残り、岡山には年老いたお夏が営んでいたという茶屋の跡まであるのだから驚きです。身分違いの悲恋に同情し、いくつもの伝説を作り出してしまおう。そんな人々の営みこそ面白いと思いませんか。

（聞き手・平松正子）

◇第4金曜に掲載します。

1枚目の記事を読んで後の問いに答えましょう。

1 傍線部①③の読み方を書きましょう。

①

③

2 空欄Aに入ると語句を漢字で書きましょう。㊦は浮世草子（江戸時代中期に流行した小説）の名前、㊧は作者名。

A

B

3 傍線部②「ぬれぎぬ」の文中での意味を書きましょう。

4 傍線部④「生きて思いをさしよよりも」の意味を、次の選択肢から選んで記号で書きましょう。

㊦生きてつらい思いをさせるよりも

㊧生きて両思いにさせないなら

㊨生きて最初からやりなおすよりも

㊩生きて思いを妨げられるくらいなら

* 解答は次ページ

NIEワークシート中～高校

NIEワークシートのこたえ（2023年7月31日公開）

◆ワークシート「お夏清十郎(少し古典)」
2023.7.28付 朝刊 県域 解答

1 ① やおや ② いなめ

2 A好色五人女 B近松門左衛門

3 無実の罪

4 ア